

別記様式（第2条関係）

## 会議結果報告書

令和8年1月22日

会議の名称	令和7年度第3回志木市総合教育会議
開催日時	令和8年1月22日（木）10時30分～11時10分
開催場所	志木市役所 教育委員会会議室（中会議室2-1, 2-2）
出席委員	志木市長 香川 武文（進行者） 志木市教育委員会教育長 柚木 博 志木市教育委員会教育長職務代理者 上野 幸子 志木市教育委員会委員 飯田 昌利 志木市教育委員会委員 可知 良之 志木市教育委員会委員 久保 大地 <p style="text-align: right;">（計 6人）</p>
欠席委員	なし <p style="text-align: right;">（計 0人）</p>
説明員職氏名	荒巻政策推進課主任 <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
議題	志木市教育大綱の改定について
結果	議題に沿って、意見交換を行った。
事務局職員	松井市長公室長、今野教育政策部長、佐野教育政策部理事兼学校教育課長、成田教育政策部参事兼教育総務課長、土崎教育政策部参事兼生涯学習課長、松田市長公室参事兼政策推進課長、高橋学校教育課副課長、矢野政策推進課主任、荒巻政策推進課主任、石田教育総務課主事
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

開会前に傍聴希望者の有無について確認を行った。

→傍聴希望者なし

1 開会

2 議題

志木市教育大綱の改定について

荒巻政策推進課主任より、教育大綱（案）について説明した後、意見交換を行った。

（市長）

第2回志木市総合教育会議においていただいた意見をもとに、基本方針の1つ目「多様性を認め」の部分で、「多様な個性を認め」と修正した。修正にあたっては、国の表現などを確認しながら慎重に検討したところである。

本日は、この修正箇所を含め、全体を通してご意見をいただき、最終的なまとめとしていきたい。

（委員）

教育はまちづくりの根幹となるものだと考えているが、時代に合わせた教育大綱に改定できたと感じている。

（委員）

改定案は改定前と比較して具体化されており、進むべき方向性が明確となった。市民力が教育の場でも生きるようにという観点が追加されており特に良いと感じた。

（委員）

この教育大綱の改定により、今後の志木市に3つのことを期待している。1つ目は子ども一人ひとりを大切にする小中一貫教育。2つ目が不登校対策などの学びの多様化。最後に学校運営協議会の活躍についてである。特に小中一貫教育について、志木市はこれまでも子ども一人ひとりを大切にしてきたが、その集大成になるのではないかと考えている。

(委員)

改定案は改定前と比較して具体化されたことで、目指すべき方向性が明確な骨組みが完成したと感じている。今後この大綱を指針として、教育委員会や教育現場において実現に向けて取り組んでいく。

(教育長)

教育大綱は、教育行政の根幹であり、道しるべとなるものである。今回の会議を含め全3回にわたってしっかりと議論したことで、大きな理念を踏まえつつも、誰もが分かりやすい教育大綱案とすることができたと感じている。また、同時に重責を感じている。教育大綱をどのように体現するかが重要である。

(市長)

令和8年度より本日お示しした教育大綱に改定をしてまいりたいと考えているがよろしいか。

(委員)

異議なし。

### 3 その他

(市長)

それでは、次第の3に移る。連絡事項などあるか。

(事務局)

令和7年6月に給特法等改正法が成立し、教職員の働き方改革推進による学校の指導・運営体制の充実や教師処遇改善を目的とする「業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定している。文部科学省より、総合教育会議を通じた連携・協働により自治体全体で取り組むことが示されており、今後、本会議において進捗状況を報告していく。

(市長)

教職員が健康で働きやすい環境を整えることは児童生徒の教育環境の向上にもつながると考えているので、市長部局としても支援していきたい。

### 4 閉会